

イラク後送業務隊の活動報告



18. 7. 20
イラク後送業務隊

イラク後送業務隊活動報告 (7月20日)

1 人員・装備の状況

異状なし

2 20日(木曜日)の活動

区分	業務内容
後送業務	コンテナ作成 8個コンテナ作成 (武器×3、弾薬×1、衛生×3、車両×1)
	洗車 2両後送準備終了 (大型×2)
	本邦後送
	その他 シュワイク港への搬入(車両27両):22日出航予定 海上輸送
帰国支援業務	○群長等表敬移動支援 ○キャンプアリフジャン研修支援 ○個人コンテナ検数・検量支援(第3波 467個)
その他	○群長視察受け ○キャンプバージニアにおける弾薬コンテナの作成(18~21日) ○当面の本邦後送予定 ・7月22日(アントノフ:コンテナ9本)

3 後送業務の進捗状況

7月20日末現在

区分	計画		実績 (c)	進捗度		残数	備考	
	総数 (a)	当該日迄 (b)		総数比 (c/a)	計画比 (c/b)			
コンテナ	開梱 (コンテナ数)	337	159	165 [6]	50%	104%	172	
	コンテナ詰 (点数)	集計中	13,982	13,514 [3,660]	-	-	-	
	後送 (点数)		0	7412 [0]	-	-	-	
車両	洗浄	230	66	64 [2]	27.8%	97%	166	
	後送		0	0 [0]	0%	0%	230	

※ 点数については、弾薬を除いた点数
【 】内は当日の実績で内数

9月中旬終了を目途

4 21日(金曜日)の活動予定

区分	業務内容
後送業務	コンテナ作成 0個コンテナ作成 (整備日)
	洗車 0両後送準備完了 (整備日)
	本邦後送
	その他 ○シュワイク港からの定期船(車両27両); 22日出航予定 → 8月中旬着 ○アントノフ積載コンテナ等のムバラク空港への搬入; 22日出発予定 → 7/24着 (武器弾薬)
帰国支援業務	○大使館意見交換会エスコート支援 ○個人携行装備品等の回収支援
その他	

5 週間後送計画及び実績

区分	7/15	7/16	7/17	7/18	7/19	7/20	7/21
	土	日	月	火	水	木	金
コンテナ作成	車両×1	車両×1 需品×1	車両×3 需品×3	弾薬×3	弾薬×3 車両×3	武器×3 衛生×3 車両×1 弾薬×1	0
	車両×1	車両×1 需品×1	車両×3 需品×3	弾薬×2	弾薬×3 車両×1 通信×1 需品×1	武器×3 衛生×3 車両×1 弾薬×1	
洗車	5	6	3	0	4	4	0
	5	6	3	0	4	2	
後送	コンテナ	8					
	トレー	39					
	車両					27 (22日予定)	

※下段には実績を記入

6 日々ミーティング

- 治安情勢:別紙第2「クウェートの治安状況等(7月20日)」
- RSU長指導事項
 - 22日は、群の帰国支援とアントノフによる弾薬輸送が重なっているため、人員及び車両の効率的な運用に努めよ。あと2~3日がヤマなので頑張っていこう。

RSU活動状況 (7月20日)

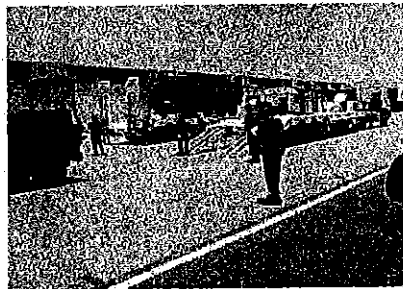
別紙第1



群長視察受け(倉庫)



群長視察受け(PWC洗浄施設)



シュワイク港への車両の搬入



キャンプアリアフジャン研修支援

クウェートの治安状況等 (7月20日)

別紙第2

分区	内容	備考
クウェートの治安状況等	1 在クウェート日本大使館等 警戒情報 (1) 警戒レベル : ██████████ (2) 日本国外務省連航安全情報:クウェート全土「十分注意」(N/C) 2 ██████████倉庫・宿泊場所等活動地域:異常なし。 3 クウェート国内での車両運行に及ぼす影響 交通事故は、ほぼ連日主要国道で発生している事から車両運行時、特に次の点に注意 (1) R6, R40, R80上の速度超過による追突事故、突発的な歩行者の横断 (2) 前方走行するトラックのバーストによるタイヤの飛来(7月以降は、道路の高温に加え、ほとんどのトラックは再生タイヤ着用のため、タイヤはバーストしやすい状況) (3) ロータリー交差点の進入・退出及び側道から本線への進入時 (4) 砂塵及び砂塵発生時、視界不良、安全速度の厳守 4 宿泊場所及び██████████倉庫等での活動に及ぼす影響 クウェート全土で反米勢力がテロを敢行する可能性は排除できず、宿泊場所及び██████████倉庫等への移動時は警戒する必要がある。	N/C N/C N/C 付紙参照
	1 天気:晴れ 2 気温 :1100現在の気温(直射日光下):53.8℃(昨日比-0.8℃) :0700現在の気温(直射日光下):41.0℃(昨日比-5.2℃) 3 今後、しばらくは、快晴が続くと予想 明日は快晴の天候。今後、24日頃まではこの天候が続き、砂塵等の発生はない。 早くて25日後半遅くて26日頃から砂塵の発生の可能性があると予想。 (アリアムサレム空軍基地 空白 気象班情報)	7/20更新

アラブタイムス記事紹介 (1/2)

【題 旨】

レバノンに対するイスラエルの攻撃に対するクウェートの国会議員の所見等がアラブタイムス(7、18付)に掲載されたところ、その記事の内容の骨子を紹介するもの

【記事内容骨子】

- 1 17日特別国会後、クウェート国会議長がイスラエルのレバノンに対する攻撃について発言
 - 「そのような攻撃は、我々すべてをテロリストにする何ものでもない」と警告
 - 「我々はアラブ人として、イスラエルの大虐殺を止めるための、積極的な役割を果たすことが出来ないことが遺憾であり、イスラエルの侵略を止められないのは国際社会の責任である。」
- 2 複数の国会議員の反応
 - 「敵(イスラエル)を支援している時に、アラブ連盟は死んでしまっているようなものであり、米国がイスラエル支援を続けることに憤りを感ずる。」
 - 「シオニストの敵に対する武力抵抗を支持し、アラブは、われらの兄弟であるパレスチナ人、レバノン人を侵害しているシオニストの敵に対して武器を持つべきである。」
 - 「世界のイスラム教徒及びアラブはシオニストに対する抵抗を支援すべきである。」
 - アイデンティティーを放棄したアラブの国に対して不快感を表明し、「アメリカがクウェートを開放したというだけでアメリカの旗を焼けないのか？」と、問いかけ
 - ヒズボラの支援者を無謀だと言っている人達を非難し、「米国は、我々の敵であるイスラエルの一番の支援者である。」
- 3 副首相や外務大臣の対応

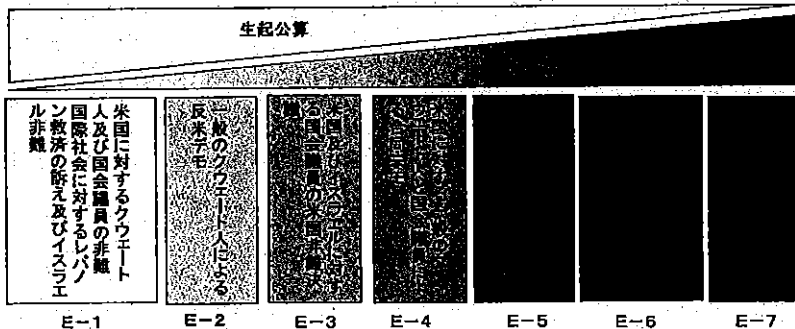
クウェート政府は米国を考慮し、レバノンの支援をやめたという主張を否定。そして誰も我々(クウェート政府)に条件をつけることは出来ないと言った。
- 4 その他の反応

複数の議員が、地域の平和と安定を維持するために国連PKOの存在を指摘

アラブタイムス記事紹介 (2/2)

【評 価】

- 1 今後のクウェート国内での情勢見極(クウェート政府～一般住民等の反応の概れ幅)



- 2 現時点は、E-2段階であり、国会議長のテロ発言があるものの、直ちにE-6以降へ発展する可能性は、少ないと思料(理由:①現時点でテロリストの動向情報及びテロ情報なし。②米軍等の警戒レベルは、デモ発生以前とN/C) いずれにせよ、反米デモは、クウェート政府にとって政治的、経済的、安全保障的見地及び対米関係から失うものの方が大であるため抑止に全力を尽くすものと思料
 - 3 レバノン情勢に対する米国の反応及びイスラエルの攻撃継続如何では、E-4、E-6に発展する可能性があり、引き続きクウェート政府及び米軍等から情報収集する必要がある。
 - 4 アラブタイムスにおけるレバノン攻撃の悲惨な写真の掲載は、クウェートの世論の反イスラエル、反米の機運を誘発し、反米デモ等へ盛り立てる要因となる。
- 【活動に及ぼす影響】**
 キャンパージニア・キャンプアリフジャン等米軍基地への移動時、敗米人がよく立ち入る市内施設に行く場合は、デモ等に遭遇する可能性があることから周囲の状況に注意する必要がある。

陸自イラ特部隊の活動実績等と活動予定

18. 7. 20

	20日（木）の活動実績等	21日（金）の活動予定
群主力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帰国第1波 本邦到着 ○ 帰国第2波 クールダウン (キャンプアリフジャン研修) ○ 帰国第3波 個人コンテナの検数・検量 ○ 空自派遣輸送航空隊等挨拶及びRSU視察(群長等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帰国第2波 → 22日ケルテ出国 20日 0740 羽田着予定 クールダウン ○ 帰国第3波 ○ 大使館意見交換会(業支隊)
後送業務隊	<ul style="list-style-type: none"> ○ 後送業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプバージニアにおける弾薬コンテナ、武器コンテナ作成 ・ █████ 倉庫におけるコンテナの開梱、コンテナ詰め ・ PWC洗浄施設における後送車両の点検及び洗車 ○ 群帰国支援業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ キャンプアリフジャン研修支援 ・ 個人コンテナの検数・検量支援 ・ 群長の空自派遣輸送航空隊等表敬移動支援 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ 群長視察受け 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 後送業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ アントノフ積載コンテナ等のムバラク空港への搬入 ○ 群帰国支援業務 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大使館意見交換会エスコート支援 ・ 個人携行装備品等の回収支援 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・ クウェート後送隊整備日